

ガルモハル

JAPANESE SCHOOL OF MUMBAI
Unit No.201/202,Hiranandani Knowledge Park,
Technology Street,Near Dr.L.H.Hiranandani-
Hospital,Powai,Mumbai-400076.India
TEL 022-6694-0630 FAX022-6221-5107

15 DEC/2023 NO8

『生き残る種とは』

校長 佐藤 義朗

12月の児童生徒朝会の校長講和で子どもたちに次のお話をしました。

「コロナの感染症がようやく収束しつつあり、4月から学校の活動も自由に行えるようになった2023年もあと1か月を切りました。コロナ禍では、様々な変化がおき、マスクをつける、三密を防ぐ、部屋の換気を行う等々、状況に合わせて対応しながら生活してきました。

皆さんも、ここインドで生活するにあたり、今まで住んでいた日本や他の国とは違うインドそしてムンバイの環境に合わせて生活していると思います。

私は、生き物のことを研究している生物学者であるダーウインの言葉を思い出しました。

生き残る種とは、最も強いものではない。

最も知的なものでもない。

それは、変化に最もよく適応したものである。

力が強い人が生き残るわけでない。頭がよい人が生き残るわけでもない。

目の前に起きる変化に合わせて生きることができる人がずっと生きていけると言っています。まさに皆さんが今行っていることです。

予測不可能な時代が到来し、数年先も何が起こるかわからない状況ですが、その変化に自分が合わせて生きていけるような柔軟な考えや行動を「学び」から吸収して行ってください。また、残りの2学期・3学期もどうしたらこれからも住みよい地球・住みよい世界を創っていけるかSDGsの学習等を通して学び考えて行ってください。」と。

世界や地球の状況を見ると、この先決して安心して生活できる状況ではないと言っても過言ではありません。世界や地球で起きていることは、決して他人事ではなく、私たちの生活に密接につながっています。

これからも、ムンバイ日本人学校で学ぶ子ども達には、このことをしっかりと自覚して自分たちなりに責任ある行動がとれるように育ててほしいと願っています。

16日から、冬休みが始まります。学校では、学ぶことのできない様々な事をたくさん経験し、「学び」を楽しむことを期待します。